



試すっ子

学校教育目標「試す人になろう」 No.6

私の原風景から「心の脱皮」

校長 中野 主税

私の小学校時代は、今よりも豊かな自然に囲まれていました。学校から帰ってくると、家の近くの川で、アメリカザリガニやオタマジャクシ、小魚などを手でとったり網ですくったりしていました。生き物の中には、皮を脱ぐ生き物がいます。皮を脱ぐことを「脱皮」と言います。アメリカザリガニも脱皮します。私も、この脱皮を何度も見ました。

なぜ、アメリカザリガニは脱皮するのか知っていますか。それは、**大きくなるため**です。アメリカザリガニは、一度脱皮すると 1.3 倍の大きさになるそうです。アメリカザリガニの他にも、セミやカブトムシ、チョウなども脱皮により、大きくなっていくのだそうです。

しかし、脱皮するということは、**生き物にとっては、とても怖いこと**なのだそうです。なぜか、わかりますか。脱皮したばかりは、体が柔らかいからです。柔らかいと、敵に襲われたときに**食べられてしまうかもしれない**から怖いのです。でも、生き物は、大きくなるために脱皮を繰り返していきます。

私たち人間は、皮膚を脱いで脱皮していくことはできません。しかし、皮膚はできなくても、できるところがあるのです。それは、「**心の脱皮**」です。どのようなことか分かりますか。自分で「こんなところが弱い所だなあ。」と思うところはありませんか。

例えば、「一度決めたことを、なかなか続けられずすぐにあきらめてしまう。」「大きな声であいさつができない。」「いいことをしようと思っても、なかなかできない。」など、このような**弱い心の皮を脱ぐことが「心の脱皮」**ということなのです。

だから、「心の脱皮」をする時にも**勇気が必要**になります。そして、勇気を出して「心の脱皮」をした人は、アメリカザリガニのように、**大きく成長**できるのではないのでしょうか。

光明小学校の子供たちが、「**試す人になろう**」の**合言葉**のもと、**少しずつでも勇気を出して「心の脱皮」**をしていくことを見守っていきたいと思っています。

『から』

宮入黎也

ザリガニが すぽっと からをぬいだんだ
赤い じょうぶな から 着なれたやつ
田んぼの どろの しみたやつ

今 やわらかい 白い体なんだ
からをぬぐって どんな気持ちだろう

すぎすぎるたびに 大きくなる ザリガニ
ぼくにも からがあつたら
バリバリぬぐ
おとなになって どこへでも行く